

記入例

示談書
(第一当事者 甲 用)

- 相手方と示談が成立した際に必要となる書類です。
- 一般的に(甲)欄は当方(お客さま)、(乙)欄は相手方となります。甲乙それぞれご自身で記名捺印してください。
- 3枚すべてにご捺印ください。当事者、相手方がそれぞれ一枚ずつ保管し、残り1枚を損保ジャパン株式会社にご返送ください。

2024 年 11 月 1 日

第一当事者 甲	住所: 神奈川県川崎市幸区堀川町 X-X 氏名: 東芝電気有限公司	甲、乙、両方の記名捺印が揃った日付をご記入ください。 東芝電気 代表印
第二当事者 乙	住所: 東京都中央区日本橋2-2-10 氏名: 日本橋 花子	法人の場合は、法人名、代表者名を記載し代表者印(丸印)をご捺印下さい。 日本橋

事故日発生日時	2024 年 10 月 10 日 16 時 30 分頃
事故場所	東京都中央区日本橋2-2-10
事故の原因 状況結果	甲が冷蔵庫の配送作業中に誤って乙の住居のフローリングに傷をつけてしまった。 以下余白。
示談の内容	甲は乙に対し既払金〇,〇〇〇円のほか、本件事故に関する一切の損害賠償金として、 金〇〇〇,〇〇〇円を乙指定口座に支払う。なお本件示談の他、甲、乙間には一切の 債権債務関係がないことを確認する。以下余白。 ●示談の内容についてご記入ください。 ●示談時に、治療費等の既払いの賠償金がある場合には、明記します。 ●金額を記入する際は「金〇〇,〇〇〇円」または「¥〇〇,〇〇〇-」など具体的な金額を、ご記入ください。 ●甲・乙間には、示談内容以外に債権債務関係がないことを確認する文言として、次の内容をご記入ください。 「なお、本件示談の他、甲、乙間には一切の債権債務関係がないことを確認する。」 ●最後に「以下余白。」と記入します

(第一当事者 甲 用)

年 月 日

第一当事者 甲	住所:
	氏名: 印

第二当事者 乙	住所：
	氏名： 印

事故日発生日時	年 月 日 時 分頃
事故場所	
事故の原因 状況結果	
示談の内容	

書談示

(第二当事者 乙 用)

年

月

11

第一当事者 甲	住所：
	氏名： 印

第二当事者 乙	住所：
	氏名： 印

事故日発生日時	年 月 日 時 分頃
事故場所	
事故の原因 状況結果	
示談の内容	

示談書
(控)

年 月 日

第一当事者 甲	住所：
	氏名： 印

第二当事者 乙	住所：
	氏名： 印

事故日発生日時	年 月 日 時 分頃
事故場所	
事故の原因 状況結果	
示談の内容	